

令和4年12月1日

No. 455

<第687回建設技術講習会を松山市で開催>

第 687 回建設技術講習会が、松山市で令和 4 年 10 月 26 日（水）～28 日（金）の日程で、「工事積算（土木・建築）の動向と i-Construction の取り組み」をテーマに開催されました。

この度の講習会では、聴講は会場収容人数 566 名のところ募集人数 280 名、現場研修は大型バス乗車定員 45 名/台のところ 22 名以下/台×8 台とし募集人数 170 名、交流会はなしとし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で、聴講 274 名、現場研修 165 名の参加を得て実施しました。

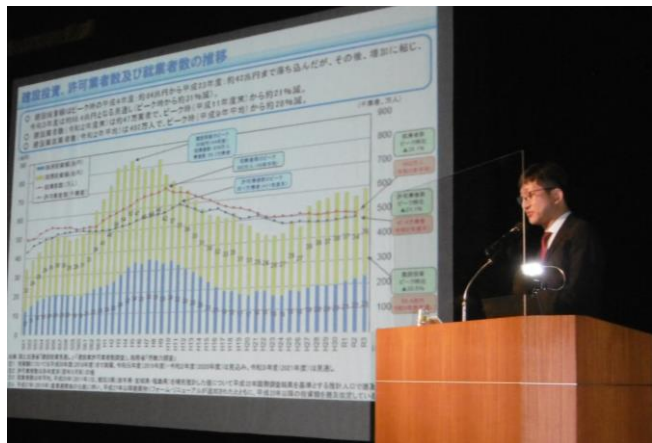
講習会初日は、下記の 3 講演が行われました。

- 公共工事の執行に係る最近の動向について
- 土木工事積算の直接工事費算定における留意点
- 建設現場で繰り返し発生する労働災害の防止とヒューマンエラー

講習会 2 日目は、下記の 4 講演と講習会 3 日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 公共工事と会計検査
- 公共建築工事の円滑な施工確保対策
- i-Construction からインフラ DX へ
- 建設工事における事故と安全対策
- 地域事業の紹介 3 事例

講習会 3 日目の現場研修は、「肱川緊急治水対策」、「主要地方道小田河辺大洲線鹿野川バイパス整備事業」、「八幡浜港フェリー埠頭再整備事業」を視察しました。



国土交通省大臣官房技術調査課
林雄一郎建設システム管理企画室長の講演の様子



現場研修の様子「主要地方道小田河辺大洲線
鹿野川バイパス整備事業」

＜第688回建設技術講習会を新潟市で開催＞

第 688 回建設技術講習会が、新潟市で令和 4 年 11 月 16 日（水）～18 日（金）の日程で、「道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題」をテーマに開催されました。

この度の講習会では、聴講は会場収容人数（1 日目）448 名のところ募集人数 220 名、現場研修は大型バス乗車定員 45 名/台のところ 22 名以下/台×6 台とし募集人数 126 名、交流会はなしとし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で、聴講 214 名、現場研修 124 名の参加を得て実施しました。

講習会初日は、下記の 2 講演と講習会 3 日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- ポストコロナの交通像に関する一私論
- 北陸地域の港湾行政について
- 地域事業の紹介 3 事例

講習会 2 日目は、道路部門と港湾・漁港部門の 2 会場に分かれ、それぞれ下記の講演が行われました。

（道路部門）

- 道路行政に関する施策の体系と今後の展望
- 我が国の道路メンテナンスの現状
- 道路交通安全対策について
- 無電柱化の取り組み
- 道路の防災対策と今後の展開

（港湾・漁港部門）

- 港湾行政に関する施策の体系と今後の展望
- 港湾における i-Construction の取組
- カーボンニュートラルポート（CNP）に関する取組
- 港湾における防災・減災対策と災害対応
- 漁港漁場行政に関する施策の体系と今後の展望

講習会 3 日目の現場研修は、「一般国道 403 号三条北バイパス工事」、「万代島（新潟港西港区）の賑わい創出事業」、「国道 7 号栗の木道路・紫竹山道路整備事業」を視察しました。



東京大学大学院工学系研究科
福田大輔教授の講演の様子



現場研修の様子
「国道 7 号栗の木道路・紫竹山道路整備事業」

＜令和４年度公共工事品質確保技術者の更新講習と資格試験が終了＞

令和４年度公共工事品質確保技術者の更新講習と資格試験が終了しました。

更新講習については、WEB 研修【ビデオ方式：事前に収録した動画を任意の時間に視聴する方法（講習内容は全国共通）】で実施しました。品確Ⅰは 214 名、品確Ⅱは 502 名、合わせて 716 名の方が受講されました。

また、資格試験については、10 月 1 日（土）の名古屋会場を皮切りに 11 月 19 日（土）の東京、新潟会場まで全国 9 会場で行われました。令和４年度は、品確Ⅰは 80 名の方、品確Ⅱは 66 名の方、合わせて 146 名の皆様が受験されました。

なお、試験結果については、12 月に開催予定の公共工事品質確保技術者資格認定委員会に諮られて合否が決定され、12 月中に全建ホームページで発表するとともに各受験者にお知らせします。

【問い合わせ先】 事業課 高野、春日

TEL：03-3585-4546 E-mail：hinkaku@zenken.com

＜令和4年度全建賞候補事業の推薦について＞

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年の全建賞創設以来、毎年優れた建設事業を実施した機関に授与し、令和4年度表彰で70回目となる歴史と伝統のある賞です。令和3年度表彰までに2,894事業が授賞されています。

令和4年度も多くの推薦を予定している旨の報告を頂いています。

地方協会会長から全建会長あてに提出していただく推薦書の提出期限は、令和4年12月23日（金）となっています。推薦書の提出漏れにご注意ください。

詳しくは、地方協会会長あてにご案内しました「令和4年度全建賞候補事業の推薦について（依頼）」（令和4年9月30日付 全建発第4-130号）」をご覧ください。

【問い合わせ先】 会員課 戸村

TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

＜全会員対象 全建会員安心サポート制度について＞

全建では、全会員を対象とする「全建会員安心サポート制度」を運用しています。サポートの内容は次のとおりです。

①建設系公務員求償補償サポート

国家賠償法によって公務員個人が求償されたときの損害賠償金を、50万円を限度に補償します。なお、幅広いリスクを対象に、より手厚く安心な補償上乘せ（最大1億円）ができる建設系公務員賠償責任保険への加入をおすすめしています。

②弁護士・医師等電話相談サポート

法律・税務・社会保険・医療・介護について、専門の弁護士・医師等による電話相談サポートがご利用いただけます。

全建では、会員が安心して職務を遂行することができるよう、会員サービスの充実に努めてまいります。詳細については、全建ホームページ（会員サービス）をご参照ください。

【問い合わせ先】 会員課 戸村 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

**＜「訴えられたら」どうしますか!? インフラの管理瑕疵で… 入札契約で…
2022 年度建設系公務員賠償責任保険 建設系機構・公社等職員賠償責任保険 中途加入受付中!!＞**

安心して公務に従事していただくため、保険未加入の会員の皆様は、是非この機会に本保険の加入をご検討ください。

例えば、下記のような事項に起因して、あなたが訴えられる可能性があります。

- 道路、河川等の設置又は管理瑕疵に起因した災害において損害が生じた
(パトロールの見落とし、施設の老朽化、点検不足等)
- 工事中の事故に対する現場監督官の責務、工事検査の評点の不服
- 入札契約関連（積算ミスや技術審査への不服等に起因する入札業者からの訴訟）
- 許認可関連や情報公開請求（手続きの不備や遅れ、土地の境界争い等）
- 地元対応（言った、言わないなど、説明不足に起因した施工に対するトラブル）

本保険が好評な理由

- 建設系公務員等のリスクに対応した新しい保険
- 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
- 退職後も5年間の補償が続く
- インターネットでも加入・更新の手続きができる

2022年度保険には、令和4年8月1日からの通年契約に、建設系公務員賠償責任保険には4,056名、機構・公社等職員賠償責任保険には264名の会員の皆様に加入していただきました。

本保険は、各年の8月1日からの1年間を保険期間としておりますが、通年契約でなくても「いつでも中途加入できます」。

2021年度保険でも建設系公務員賠償責任保険には918名の方が中途加入し、令和4年5月末時点は4,747名の方が加入しています。機構・公社等職員賠償責任保険には40名の方が中途加入し、令和4年5月末時点は313名の方が加入しています。

- ①本保険は、正会員の皆様であればいつでも加入でき、中途加入の場合の保険料は月割り計算となります。
- ②2022年度保険パンフレット及び申込書（払込取扱票）は月刊「建設」2022年6月号に同封致しました。追加送付のご希望がありましたら、必要部数を下記取扱代理店までご連絡ください。（パンフレットは、全建ホームページからご覧いただくこともできます）
- ③加入（更新）手続きがインターネットでも行えます。
- ④各種の特約がついておりますので、保険の内容や加入手続きについての詳細は、全建ホームページ（会員サービス）をご参照ください。

【問い合わせ先】

- 本保険内容に関する問い合わせ・ご相談・パンフレット（払込取扱票）の入手
取扱代理店：建栄サービス株式会社 木村・渡辺
(受付時間) 土・日・祝日を除く 9:15～17:00
TEL: 03-3291-6340 E-mail: kb-madoguchj@kenei-s.co.jp
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2階

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
(担当) 公務第一部 公務第一課 安斉・蓑和
(受付時間) 土・日・祝日を除く 9:00～17:00
TEL: 03-3515-4122 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

- 団体保険契約担当（会員に関する問い合わせ）
会員課 戸村 小沢
TEL: 03-3585-4546 E-mail: kaiin@zenken.com

＜ 全建CPD（継続教育）の利用について ＞

全建は建設系CPD協議会に加盟しています。このため、全建のCPDに利用者登録し、認定された単位は、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様の扱いとなります（一部を除く）。

他のCPD加盟団体の講演会等に参加する機会の少ない地域においても、全建地方協会等の講演会に参加し全建CPDを取得すれば、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様な扱いを受けることが可能です。

全建会員は、全建CPD制度へ無料で利用者登録できますので、是非ご利用ください。

全建CPD制度の詳細につきましては、下記の全建ホームページをご覧ください。

(https://www.zenken.com/ZK_CPD/main.html)

【問い合わせ先】 事業課 高野 春日

TEL：03-3585-4546 E-mail：zkcpd@zenken.com

＜「伝承プロジェクト」（出前講座）の活用について＞

「伝承プロジェクト」は技術の伝承を目的に、貴重な体験や取組をした官公庁等技術者が、他の地方協会で行われる出前講座の講師となり技術等を伝え、また地方協会間を結んでいく事業です。

出前講座 講演分野「東日本大震災」

「平成28年熊本地震」

「平成30年7月豪雨災害」

「令和元年度東日本台風」

派遣協会 岩手県、宮城県、仙台市、福島県、広島県、熊本県

講師派遣費用（2名／1回まで）の全額、実施運営費の一部（上限4万円）は、本会が負担します。貴重な体験や新しい取組みの伝承にぜひご活用ください。

【問い合わせ先】 事業課 下野 高野 杉戸

TEL：03-3585-4546 E-mail：kensyu@zenken.com

＜ 全建本部と地方協会・地区連合会との情報交換等について ＞

全建本部では、地方協会・地区連合会との情報交換を密にし、より一層皆様の声を反映した事業を実施し、更なる全建活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

総会等の開催をご案内いただければ、全国的な動向について情報提供するとともに、会員の皆様のご意見等を伺う機会として、可能な限り出席させていただきます。

つきましては、総会等の開催の機会がございましたら、全建本部までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、交通費等について地方協会にご負担いただくことはありません。

【問い合わせ先】 総務課 木下

TEL：03-3585-4546 E-mail：soumu@zenken.com

＜「基礎から学ぶインフラ講座」－第2版－ 販売中＞

全建では、月刊「建設」に連載中の「基礎から学ぶインフラ講座」をとりまとめて、書籍として出版しておりますが、現在、第2版を出版しております。

本書は河川、道路、港湾、都市公園等の各事業について、管理区分、事業制度、技術的基準などを、出典を含めて基礎から学ぶことができます。また、分野横断的なものとして入札契約制度の概要や趣旨についても掲載しています。

第2版では、掲載する事業数が約2倍となり、より充実した内容となっております。また、初版に掲載されていた事業についても、最新の統計値や最新の制度改正等を反映するよう、加筆・更新しています。

○第2版の概要

- ・体 裁 : A-4判、111ページ
- ・定 価 : 1,980円 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜「令和5年 2023全建手帳」販売中＞

「令和5年 2023全建手帳」を販売しています。やわらかな作りで手に馴染みやすく、使い易いと好評をいただいています。建設技術者にとって必要な「インフラ情報」を満載しており、建設技術関係の月間や記念日、高速道路等の開通日、大きな災害の発生日、イベント予定日などを掲載しています。今年もお使いください。

【主な特徴】

- ・A6変形判サイズで、記入スペースが広く使いやすい大きさです。
- ・便利なペン差し付き大型ポケットを備えています。
- ・資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。
- ・カレンダーの収録期間が2022年11月から2024年3月までと長く、新しい手帳の移行に便利です。
- ・定価 770円（税込）

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜「令和4年 災害手帳」販売中＞

本会出版の「令和4年災害手帳」は、災害復旧事業に関する国庫負担申請の事務手続きや、関連して必要となる技術的な留意点について解説したハンドブックです。初めて災害復旧事業に携わる方々にも容易に理解できるよう、用語の解説や索引など、わかりやすい編集になっています。

○令和4年版の概要

- ・体 裁 : A-6判、759ページ
- ・定 価 : 2,420円 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設の災害申請工法のポイント」－平成 27 年改訂版－ 販売中＞

本書は「災害手帳」の参考図書として、国庫負担申請にあたってのその範囲の考え方や、復旧工法等の基本的なポイントを、主として技術的観点から解説しています。

＜平成 27 年版の主な改訂点＞

- ・美しい山河を守る災害復旧基本方針、道路土工指針等最新の技術基準類の内容を反映した改訂
- ・下水道の災害復旧の考え方を新規追加
- ・その他の改訂（河川の最大洗掘深把握と根入れの考え方、橋梁設計荷重の追加等）

○平成 27 年改訂版の概要

- ・体 裁 ： A-5 判、カラー、304 ページ
- ・定 価 ： 2,954 円 （会員価格：2,363 円） 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設災害復旧の災害査定添付写真の撮り方」－平成26年改訂版－ 販売中＞

災害復旧事業の申請に必ず必要となる被災状況等の添付写真について、写真等の事例（工種別）他、留意事項等を取りまとめています。

＜平成26年版の主な改訂点＞

- ・平成25年8月事務連絡「災害査定添付写真について」等に基づき全面改訂
- ・全景写真、横断写真、写真等の事例（工種別）について、平成25年の簡素化事例写真を掲載

○平成26年改訂版の概要

- ・体 裁 ： A-5判、カラー、73ページ
- ・定 価 ： 2,343円 （会員価格：1,874円） 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「技術者のための災害復旧問答集」－改訂版－ 販売中＞

公共土木施設に係わる災害復旧事業については、基本法となる「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」をはじめ、これに基づく政令や通達が定められており、その内容は多岐にわたっています。

「技術者のための災害復旧問答集」では、平成25年に10年ぶりの全面的な見直しを行いました。初めて災害復旧事業に携わる公務員や関係技術者を対象に、事例等を「Q & A」の形式で平易に解説してあります。災害復旧事業のわかりやすいテキストという位置づけで研修等の教材として、また、実務に際しての参考書として活用していただけます。

○改訂版の概要

- ・体 裁 ： A-5判、254ページ
- ・定 価 ： 2,640円 （会員価格：2,090円） 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜技術図書の4割引サービスを実施しています＞

出版各社の協力を得て、技術図書を4割引で斡旋しています。令和4年度の割引図書リストを更新しました。資格試験に役立つ図書の他、様々なジャンルの図書を取り揃えておりますので、ぜひご利用ください。

詳細については、全建ホームページ（会員サービス）又は月刊「建設」5月号をご参照ください。

【問い合わせ先】 会員課 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kaiin@zenken.com

＜全建メールマガジン登録随時受付中＞

全建では、建設関係施策及び関連する情報等を月1回登録者の皆様に無料で発信しています。毎月ホットな情報を満載し、魅力ある情報を配信する全建メールマガジンです。

どなたでもご利用いただけます。是非ご登録ください！全建メールマガジン登録及び解除は、全建HPの全建メールマガジンのページで、直接ご自身で行ってください。

全建メールマガジンのページはこちらです https://www.zenken.com/zk_mm/zk_mm.html

最新号のメールマガジンはこちらです http://www.zenken.com/zk_mm/back_no/back_no.html

令和4年11月の動き

○ 11月 1日 (火)	機関誌 月刊「建設」11月号発行 特集：地域活性化の推進 ～観光資源の魅力を極める～	発行部数59,000部
○ 11月 5日 (土)	公共工事品質確保技術者資格試験（福岡市）	於：福岡県福岡市
○ 11月 12日 (土)	公共工事品質確保技術者資格試験（大阪市）	於：大阪府大阪市
○ 11月 16日 (水) ～ 18日 (金)	第688回建設技術講習会 道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題〈2会場〉	於：新潟県新潟市
○ 11月 19日 (土)	公共工事品質確保技術者資格試験（東京都）	於：東京都渋谷区
○ 11月 19日 (土)	公共工事品質確保技術者資格試験（新潟市）	於：新潟県新潟市
○ 11月 28日 (月)	出版委員会	於：協会会議室（WEB方式）
○ 11月 30日 (水) ～12月 2日 (金)	第689回建設技術講習会 災害に強い安全な国土づくり	於：佐賀県佐賀市

令和4年12月の予定

○ 12月 1日 (木)	機関誌 月刊「建設」12月号発行 特集：社会資本のストック効果 ～ストック効果の最大化、見える化～	発行部数58,900部
○ 12月 14日 (水)	公共工事品質確保技術者資格認定委員会	於：協会会議室（WEB方式）
○ 12月 15日 (木)	機関誌編集委員会	於：WEB会議